

# ドミニカ共和国

Dominican Republic



## ドミニカ共和国の 新しい顔をアピール

ドミニカ共和国は、カリブ海の国の中でキューバに次ぎ2番目の広さを持ち、新大陸発見で有名なコロンブスの遺跡や豊かな自然、美しいビーチに恵まれたリゾートとして、欧米などから年間約300万人の観光客が訪れます。そのため、観光は主要産業の一つで、全ホテルの客室数52,000室、6つの国際空港をもつ(新たに2つ建設中)など、インフラが非常に整備されています。

観光以外では農業など伝統産業が中心ですが、最近では製造業、中でも、フリーゾーンからの輸出が著しい成長をみせています。

フリーゾーン入居企業は、法人税、輸入関税が免除されるほか、総輸出額の20%まで国内販売が認められて

いるなどの特典があります。現在51あるフリーゾーンでは、衣料、皮革、靴、電子部品などの分野に、米国、カナダ、台湾、韓国などを中心に海外から500の企業が進出し、20万人が働いています。

また、現在、首都サントドミンゴの空港から車で5分の所に広さ45万<sup>m</sup>2に及ぶITのフリーゾーン「サイバーパーク」の建設が進行しており、IT分野にも積極的に取り組んでいます。

日本の方がもつドミニカ共和国のイメージは、「タバコ、野球、音楽」といったものになりがちです。今回は9月25日から6週間にわたる滞在で、そうしたイメージを払拭し、新しいドミニカ共和国を知っていただきたい

### ドミニカ共和国

首都…………… サントドミンゴ  
面積…………… 4万8,442km<sup>2</sup>  
(九州+高知県くらいの広さ)  
人口…………… 850万人 (2000年)  
政体…………… 立憲共和制  
元首…………… イボリト・メヒア大統領



首都サントドミンゴの中心街

いとのおいもあり、4つの案件をプロモーションしました。

その中には、トロピカルジュースの製造やサン・ペドロ港の建設のほか、「サイバーパーク」への投資が含まれています。これについては、日本の例を参考にしようと、神奈川や岐阜のITパークの視察も行いました。

現在、日本との貿易関係は、日本の輸出超過の状態。日本の製品を運んできた船にドミニカ共和国の製品を積んで帰ってほしい。そのためには、ドミニカ共和国の製品のさらなるアピールが必要だと考えています。

マヌエル・ゲレーロ  
ドミニカ共和国投資促進事務所 プロジェクト・マネージャー  
Mr. Manuel Guerrero  
Project Manager, Dominican Republic Investment Promotion Office (OPI - RD)

from the world  
世界の国  
から

### ルーマニア

首都…………… ブカレスト  
面積…………… 23万7500km<sup>2</sup>  
(本州とほぼ同じ広さ)  
人口…………… 約2,250万人 (2001年)  
政体…………… 共和制  
元首…………… イオン・イリエスク大統領

私は今回開発・予測省の投資誘致を担当する投資支援室の室長として、UNIDO東京事務所のデレゲートプログラムに再度参加するために来日しました(初来日は1999年秋)。

ルーマニアの経済は、2000年に入り新政権が導入した経済政策の効果もあって除々に上向きになり、GDP伸び率も2000年の1%から今年は49%になる見込みです。特にテキスタイル(繊維製品)の輸出が好調で、イタ

リア、フランスなどの素材を加工して輸出する加工産業が柱です。

しかし、テキスタイルは付加価値が少ないので、今後は農業はもとより、機械、電子、自動車部品部門に重点をおいていきたいと思っています。

今回のプログラムでも、そうした案件を中心にプロモーションし、日本からの投資を期待しています。

ところで、ルーマニアには素晴らしい観光資源が多数あります。世界

# ルーマニア

Romania

## 機械、電子、自動車部品 などに重点



遺産に指定されたフレスコ画のある僧院、黒海のリゾート地などがあり、トランシルバニア地方の都市には中世の街並みや城が今でも残っています。ぜひ日本の方々に実際にきていただいてルーマニアの良さを実感してほしいと思っています。

ロバート・ドノゼ  
ルーマニア開発・予測省 投資支援室長  
Mr. Robert Donose  
Head of Assistance Office, Ministry of Development and Prognosis